



タイサンボク (泰山木)

夏

蝉しぐれを聞きながら ちょっと変わった 夏の花を愛でてみよう

片山 雅男

夏は直径二十センチメートルにもなり、同属のホオノキ(朴の木)と同様、芳香がある。通常ガクは三枚、花弁が六枚あるが、いずれも白色でほぼ同じ形をしている。ガクと花弁

の総数は一定せず、とくに十二枚になるものもあり、らせん状になっている。雄蕊も多数でらせん状に付き、棒状の花糸の側面にクリム色の細長い葯が見られる。雌しべも多数らせん状に付き、柱頭は細長く、丸まっている。いずれも原始的な花の特徴を示している。花も大きく、野外での花の進化の観察対象には適している。

果実は球状の液果で誰もが知っているが、花は特異的な姿をしている。風媒のため、通常は雄しべが長く、通弁がなく、花柄に黄緑色の雌しべが付き、この雌しべの側面から薄緑色の雄しべが出てくる。豪華な造りのタイ



センリョウ (千両)

写真：川合正豊

果実は球状の液果で誰もが知っているが、花は特異的な姿をしている。風媒のため、通常は雄しべが長く、通弁がなく、花柄に黄緑色の雌しべが付き、この雌しべの側面から薄緑色の雄しべが出てくる。豪華な造りのタイ

果実は球状の液果で誰もが知っているが、花は特異的な姿をしている。風媒のため、通常は雄しべが長く、通弁がなく、花柄に黄緑色の雌しべが付き、この雌しべの側面から薄緑色の雄しべが出てくる。豪華な造りのタイ

装飾花のガクは三、四枚で、青く大きな花

梅雨の花の代表は何といってもアジサイである。よく見る種のようなアジサイはセイヨウアジサイで、日本原産のガクアジサイを品種改良したものである。児童公園の東側の樹林内に植えられた一群のガクアジサイの青色は、梅雨の雨に際鮮やかになる。花の集まりを見ると、周辺部には大きな装飾花が付き、中央に小さな普通花が密集している。装飾花が額縁のように普通花を囲んでいるのでこの名がある。

サソボクとは対照的な花である。果実をよく見ると、先端に花柱の跡の大きな窪みがあり、側面には雄しべの付いた小さな窪みも見つかる。

サソボクとは対照的な花である。果実をよく見ると、先端に花柱の跡の大きな窪みがあり、側面には雄しべの付いた小さな窪みも見つかる。



ガクアジサイ (額紫陽花)

装飾花のガクは三、四枚で、青く大きな花

梅雨の花の代表は何といってもアジサイである。よく見る種のようなアジサイはセイヨウアジサイで、日本原産のガクアジサイを品種改良したものである。児童公園の東側の樹林内に植えられた一群のガクアジサイの青色は、梅雨の雨に際鮮やかになる。花の集まりを見ると、周辺部には大きな装飾花が付き、中央に小さな普通花が密集している。装飾花が額縁のように普通花を囲んでいるのでこの名がある。

サソボクとは対照的な花である。果実をよく見ると、先端に花柱の跡の大きな窪みがあり、側面には雄しべの付いた小さな窪みも見つかる。

サソボクとは対照的な花である。果実をよく見ると、先端に花柱の跡の大きな窪みがあり、側面には雄しべの付いた小さな窪みも見つかる。



清浄華院 大殿

年頃にやはり御所に近い現在地へ移転。江戸時代も皇室の帰依篤く、東山天皇御母・敬法門院を始め皇族方の墓が多く営まれました。こうした由緒から伽藍建物には御所と同じ格式を用いることができ、寺町通に面する勅使門の両袖壁にも御所と同じ五本の白線が入られています。

幕末には御所警備を担当した諸藩の寄宿所となり、中でも会津藩は藩主で京都守護職の松平容保が半年程滞在しました。一緒に滞在した藩士の中には新島八重の兄・山本覚馬や、後に戊辰戦争で命を落とす白虎隊士たちもあり、新撰組の隊士も度々訪れたようです。江戸時代まで皇室と同じ菊花紋を寺紋としていましたが、明治以後は皇室に遠慮し菊花に葉をかけた葉菊の紋を使用しています。現在の伽藍の多くは明治の火災以後に再建された物ですが、所々に残る菊花紋が皇室由緒寺院としての格式を伝えています。

幕末には御所警備を担当した諸藩の寄宿所となり、中でも会津藩は藩主で京都守護職の松平容保が半年程滞在しました。一緒に滞在した藩士の中には新島八重の兄・山本覚馬や、後に戊辰戦争で命を落とす白虎隊士たちもあり、新撰組の隊士も度々訪れたようです。江戸時代まで皇室と同じ菊花紋を寺紋としていましたが、明治以後は皇室に遠慮し菊花に葉をかけた葉菊の紋を使用しています。現在の伽藍の多くは明治の火災以後に再建された物ですが、所々に残る菊花紋が皇室由緒寺院としての格式を伝えています。



自然はわれらを われらは自然を
絶えまない人と自然の連携を象徴するメビウスの連環。これが息の長い活動が期待される自然保護のシンボルマークに表現されています。

発行人
〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地
☎075-211-6364
一般財団法人 国民公園協会
京都御苑 伊藤哲夫
編集
白川書院
監修
環境省京都御苑管理事務所
本紙は再生紙を使用しています。

京都御苑の近隣を訪ねて
大本山清浄華院
松田 道観

年頃にやはり御所に近い現在地へ移転。江戸時代も皇室の帰依篤く、東山天皇御母・敬法門院を始め皇族方の墓が多く営まれました。こうした由緒から伽藍建物には御所と同じ格式を用いることができ、寺町通に面する勅使門の両袖壁にも御所と同じ五本の白線が入られています。

(清浄華院史料編纂室 研究員)

催 事 案 内

平成27年京都御苑自然教室

初心者の方を対象に自然教室を行います。夏の御苑の草花やキノコ、昆虫や鳥を観察しましょう。

夏の自然教室“夏の御苑にふれよう”

7月26日(日)9:30~12:00

主 催 環境省京都御苑管理事務所 TEL075(211)6348
一般財団法人 国民公園協会 京都御苑 TEL075(211)6364

講 師 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。

集 合 場 所 京都御苑 石薬師御門前(上京区京都御苑内北東)

受 付 時 間 当日 9:00~9:20

参 加 費 保険料100円

そ の 他 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具や雨具があると便利です。



*以降の自然教室予定

秋の自然教室 平成27年 11月 29日(日) 9:30~12:00

冬の自然教室 平成28年 1月 24日(日) 9:30~12:00

夏のトンボ池一般公開

■自然環境保全の観点から閉鎖している「トンボ池」を期間限定で一般公開します。質問等は常駐のスタッフにお聞き下さい。

■8月7日(金)~8月9日(日) 9:30~12:00



「閑院宮邸跡」見学

京都御苑南西角にある「閑院宮邸跡」の収納展示室では、京都御苑の歴史や自然の資料が展示されています。庭園と併せてご利用ください。

収 納 展 示 室 9:00 ~ 16:00(16:30 閉 館) 入 場 無 料

休 館 日 / 月 曜 日 (月 曜 日 が 祝 祭 日 の 場 合 は 開 館)、年 末 年 始

御苑の花暦

和 名	開 花 期	主に見られる場所
ナツツバキ	6月~ 7月	中立売御門東側 母と子の森
アベリア	5月~11月	大宮・仙洞御所 東側散策道沿い
サルスベリ	7月~ 9月	間ノ町口内、九條池周辺、 建礼門前、寺町御門、等

会 員 募 集

年 会 費 ●普通会費 1,000円以上
●賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

本会員への特典

1. 本会発行物をそのつど送付します。(御苑ニュースは会費収入で発行されています。)
2. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

申し込み、問い合わせ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
住 所 京 都 市 上 京 区 京 都 御 苑 3
〒602-0881 TEL075(211)6364



ウスバキトンボのメス



ギンヤンマの連結産卵



ウチワヤンマのオス



アブラゼミの成虫

御苑に夏がやってきました。トンボ池にも多くのトンボが飛んでいます。また、苑内の樹木からいろいろなセミの声が聞こえてきます。京都御苑には、一年を通じて四十二種のト

ンボを記録しています。御苑にある池や小川にはウチワヤンマ・ギンヤンマ・ヤブヤンマ・コシアキトンボ・シオカラトンボ・チョウトンボ・ウスバキトンボ等の多くの種が飛んでいます。昔から親しまれてい

るギンヤンマの縄張りや産卵行動が見られます。ウスバキトンボは海を渡るトンボとして知られています。幼虫時代は水中で生活し、成虫になると陸で生活し昆虫を食べています。御苑には多種多様な植物があり、その植物を食べて生活している昆虫が多数生息しているのです。肉食のトンボが生活できます。植物は自分自身で生きていくための栄養を作ることができ、光のエネルギーと二酸化炭素と水で光合成をして、ブドウ糖を作り出します。これらの植物を生産者と言い、この植物を食べる昆虫を消費者と言います。動物の死体を分解してくれる菌類等を分解者と言います。この生産者↓消費者↓分解者の流れを生態系と言います。御苑は生態系がバランスよく成立しています。

御苑では夏の風物詩であるセミが八種生息しています。朝早くから鳴き出すクマゼミやアブラゼミ・ニイニイゼミ・ヒグラシ・ツクツクボウシの声が聞こえてきます。幼虫は約五年近く土中に生息し、樹木の根から栄養分を摂食しています。夕方御苑にある樹木の根元を見ると小さな穴が見つかります。その穴から幼虫が出てきて樹木に登り、羽化します。この様子を観察するとその神秘的な姿に感動します。

御苑にいるセミと鳴き声をご紹介します。ハルゼミ ↓ギャー、ギャー アブラゼミ ↓ジージリジリ ニイニイゼミ ↓チーチーイーイー ↓シャア、シャア

産卵管

アブラゼミ羽化殻腹面 メス

アブラゼミ羽化殻腹面 オス

ツクツクボウシ ↓オーシンツクツク

セミの幼虫の形態には特徴があり、羽化殻で種名とオス・メスが同定できます。羽化殻をまとめて観察するのも楽しいです。都市の中にある御苑ですが、多くのセミが生息しているのは、多くの植物があるからです。このような動物植物も寿命がきたら死んでしましますが、これらを分解する菌類も多く見られます。(京都自然観察学習会)

御苑・いのちの風景・トンボ・セミ 夏に歩く 谷 幸樹

ぼくは保育園の時から、京都ぎよえんの自然教室にきています。初めて来た時、松ぼっくりがいっぱいあるのにびっくりしてしまいました。とても楽しかったので次の自然教室にも連れてきてもらい、それからはぼくの三ヶ月に一回の楽しみにになりました。

一年生になるとセミに興味を持つようになり、セミのぬげがらをいっぱい集めました。そしてオス、メス、種類に分けられるように、自然教室の先生に見分け方を教えてもらいました。

その結果、夏休みの自由研究でセミの種類と鳴き声調査を行うようになり、四年生では市と県の科学展で優秀賞を受け、トロフィーももらいました。

前は先生の話を聞かず一人でウロチョロしていたので、よくテレビや新聞の取材を受けました。それから参加するにつれて、大きくなりましたが、興味のある所をついろうろするクセはまだ

京都御苑の自然に親しむ 京都ぎよえん大好き!

木村 舞樹

ぼくは保育園の時から、京都ぎよえんの自然教室にきています。初めて来た時、松ぼっくりがいっぱいあるのにびっくりしてしまいました。とても楽しかったので次の自然教室にも連れてきてもらい、それからはぼくの三ヶ月に一回の楽しみにになりました。

今ではセミだけでなく、キノコにもすごく興味をもっています。

特に「冬虫夏草」を見つげようと、いつもがんばってさがしていますが、そうかんたんには見つかりません。でもいろいろ見つけたキノコを先生に見せると名前を覚えてくれます。

前は先生の話を聞かず一人でウロチョロしていたので、よくテレビや新聞の取材を受けました。それから参加するにつれて、大きくなりましたが、興味のある所をついろうろするクセはまだ



2011年夏の自然教室 ~大きなキノコみつけた~



小学校入学の頃、自然教室に参加

でもなぜか先生のおっしゃることがぼくの頭の中にパツと入ってきて頭の引き出しにしまわれるので、自然からパワーをもらっているような気がします。だからぼくは自然教室が大々大大好きです。これからも皆勤賞を目指して参加したいです。(天津市立長等小学校 五年)